**先導的共生社会ホストタウン応募調書**

**１．記載者情報**

|  |  |
| --- | --- |
| 自治体名 |  |
| 部署名 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  |
| 連絡先（電話）（メール） |  |
|  |
| 相手国・地域名 |  |
| 相手国・地域との交流内容、競技種目（予定） | 事前交流　　　・　　　事後交流 |
|  |

**２．先導的共生社会ホストタウンの要件**

　以下の要件を満たす自治体を先導的共生社会ホストタウンとして認定することとします。

※赤字は記入例ですので、適宜ご記入ください

|  |
| --- |
| 1. 共生社会ホストタウンの登録を受けていること
 |
| 例）・2017年12月 登録 |
| 1. パラリンピアン及び地元パラアスリートと市民との交流を計画していること
 |
|  |
| 1. 改正バリアフリー法に基づくマスタープラン又は基本構想の策定又は改定に取り組んでいること
 |
| 例）・2021年度中に策定予定 |
| 1. 先導的・先進的な心のバリアフリーのシンポジウム、研修等を計画していること
 |
| （具体的な取組内容） |
| 1. ユニバーサルデザインの街づくりに資する先導的・先進的な事業を計画していること
 |
| （具体的な取組内容） |
| 1. 障害当事者とともに、バリアフリー情報の点検・マップ化等先導的・先進的な情報提供の強化に取り組んでいること
 |
| （具体的な取組内容） |

**３． 2021年度に活用を計画している支援措置**

※活用を計画している支援措置に〇を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 1. オリパラ基本方針推進調査費（内閣官房）
 |
|  | 1. マスタープラン作成に係る調査経費（国土交通省）
 |
|  | 1. 公共交通機関のバリアフリー化事業（国土交通省）
 |
| （実施したい内容） |
|  | 1. ホテル・旅館のバリアフリー化事業（観光庁）
 |
|  | 1. オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（文部科学省）
 |
|  | 1. 心のバリアフリーの推進のための啓発活動（国交省、法務省）
 |
| （実施したい内容） |
|  | 1. パラスポーツ体験会、心のバリアフリー教育（経済界協議会）
 |
| （実施したい内容） |
|  | 1. あすチャレ！Academy、あすチャレ！ジュニアアカデミー、あすチャレ！School、あすチャレ！運動会、I’mPOSSIBLE（日本財団パラリンピックサポートセンター）
 |
| （実施したい内容） |